デジタル小電力コミュニティ無線の特殊機能について

この度はデジタル小電力コミュニティ無線機 DJ-PV1D をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

DJ-PV1D は比較的新しいジャンルの無線機で、特定小電力無線やデジタル簡易無線登録局とは異なる呼び出し方法に加えて、自局名表示、周囲音送信と位置情報サーチなど、使われ方によっては自分のプライバシーを他人に知られてしまう機能が搭載されています。デジタル小電力コミュニティ無線（以下デジコミ）が元来プライベートな通信では無く、野生動物の監視、徘徊や迷子の看視、要救助者の発見などを目的として作られたからで、ＧＰＳ機能と同じく規格として搭載が義務付けられているものもあります。他社製品も同様の仕様となっており、特小トランシーバーのグループトーク、デジ簡のユーザーコードに相当する選択通信や、常時秘話を掛ける機能もありません。このデジコミを防災、業務、レジャーなど一般連絡でお使いになるうえで留意して頂きたい項目と設定について、以下、ご説明します。

【表示について】

通話圏内のトランシーバーが誰の物か特定するためにあるＩＤ表示機能ですが、この機能はオフにすることができません。

・ＩＤの代わりに表示される自局名を、無償で使えるＵＴ－ＰＶ１Ｄソフトと同梱のＵＳＢケーブルで、全角６（半角１２）文字の範囲で任意に設定できます。送信すると、付けた名前は全体呼び出し設定（初期設定値）をしている、他人を含む受信者全員のトランシーバーに表示されます。
・書き換えしていなければ、機器ＩＤの数字が自動的に表示されます。電源を入れたときに表示される、０３４から始まる７桁の個体固有の番号です。機器ＩＤはトランシーバーごとに固有のものであり、変更することや消すことはできないので、ユーザーを特定することが可能です。プライベートな場所や、知られたくない居場所から送信すると、第三者にその場所を無償の専用位置情報表示ソフトＧＰ－ＰＶ１Ｄを使って特定される可能性があるのでご注意ください。

【宛先設定について】

詳細説明書（以下説明書）Ｐ．３－１の呼び出し方法で「グループ」を選択すると別のグループの通話は聞こえなくなります。但し、「全体呼び出し」設定した個体は、他人であってもそのチャンネルを使う全員と通話できます。管理者（全体設定）と、作業者グループ（グループ設定）を分けた運用を可能にするためこのような仕様になっています。

・グループ内の人とだけ通話可能、他人の全体呼び出しによる混信を防ぐ設定

①　説明書Ｐ．３－３の「グループ呼び出し」を参照、通話したいトランシーバーを全部同じグルー

プ番号に設定する。

② 説明書７－２　メニュー設定操作を覚えてから、Ｐ．７－５「グループ時全体着信」を参照して全部の個体を「しない」にする。

※ 「しない」設定をしていても、同じチャンネルにいる全体呼び出し設定をしたユーザーには、通話は全て聞かれています。他人にグループ通話を聞かれないようにする方法はありません。

※ 「個別」呼び出しは「全体」設定の人にも聞かれない、比較的秘話性の高いものですが、事前にＩＤ登録し合った２者間でしか通話できません。（100%の秘話を保証するものでもありません。）

【位置情報サーチ】

デジコミには要救助者を発見しやすくするために、規格として説明書４－２にある「位置情報サーチ」が搭載されています。第三者がサーチをして、知らぬまに自分の現在地をＧＰ－ＰＶ１Ｄの地図上に表示される可能性がありますが、この機能は完全にオフにすることができません。

・位置サーチに応答させない設定

自分以外の、位置サーチされても良い相手の機器ＩＤが、最低１つ必要です。

① 説明書３－５　機器ＩＤの登録、を参照して位置サーチされても良い機器ＩＤを、最低でも１つ登録する。

② 説明書７－２　メニュー設定操作＞７－５　位置サーチ応答、で「登録ＩＤに応答」を選ぶと、自分が機器ＩＤを登録した人しか位置サーチできなくなります。但し１個でもＩＤを登録していないとこの設定は有効にならず、第三者からのサーチに応答してしまいます。

※ 設定が有効でも、ＧＰＳがお互いに正しく受信できていて、かつお互いが通話圏内に居ないとサーチされません。

【周囲音送信】

第三者が他人のトランシーバーを自動送信させ、１０秒間、その人の周囲音や声を聞くことができる機能です。これも要救助者発見の利便性のために採用されたもので、初期設定はオフ（できない）です。

・自分のトランシーバーに機器ＩＤを登録していない人は、この操作はできません。

・設定Ｐ．７－５　周囲音送信が「禁止する」のときは、この機能は働きません。初期値は「禁止する」です。登録されたＩＤのユーザーでも、操作できません。

・法人や団体がこの設定をして社員や構成員を含む第三者に貸し出す場合、その事実を相手に事前告知しておかないと、プライバシーの侵害としてトラブルになる可能性がありますのでご注意ください。

・この機能はケアモニター・ベビーモニター替わりに使えるほか、類似の機能が本格的な業務用無線機にも採用されている通り、仲間から離れて一人で危険な作業するとき等にオンにしておくと、万一の時の救助に役立ちます。

以上